

埋蔵文化財センター

レストラン
物販施設

情報休憩施設



道の駅「但馬のまほろば」地域振興施設

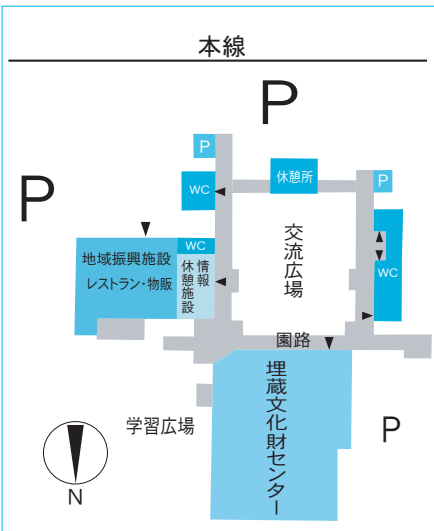
道の駅「但馬のまほろば」オープン



道の駅「但馬のまほろば」地域振興施設は、但馬地域の東の玄関口に位置し、自然美豊かな山並みを展望できる標高140mの位置にあります。朝来市では、この施設を道の駅の主要機能を担う施設として、平成17年度に単独事業で整備し、指定管理者により運営されます。

施設の特徴は、当地で近畿最大級の円墳「茶すり山古墳」が発見されたことに因み、但馬地域の歴史・文化の香りが漂う古墳時代の政庁をモチーフとした自然環境に溶け込むデザインとなっているところです。

朝来市では、この施設を「南但馬歴史・文化ミュージアム」の中核拠点として、また、交流と憩いの場として、位置づけ、参画と協働による豊かな



スローフードコーナー



物産販売コーナー



ファストフードコーナー

な地域づくりを推進することを目指しています。

道の駅「但馬のまほろば」の概要

- 全体面積 約 30,000㎡
- 駐車場 130(小型 104、バス 12、トラック 14)
- トイレ 男(小 15、大 4、障 2) 女(36、障害 2)
- 公衆電話 1台(24時間使用可能)

この道の駅を利用していただく方に地域の情報を提供することで、通過点ではなく、朝来市が目的となるよう、きっかけづくりができればと思います。

「きれいな道の駅」「明るく元気な道の駅」「もう一度行ってみたい道の駅」の実現を図るため邁進していきたいと思えます。

道の駅には休憩、情報提供、地域との連携の3つの機能があります。この目的を果たすとともに



道の駅「但馬のまほろば」
支配人 二宮 哲雄